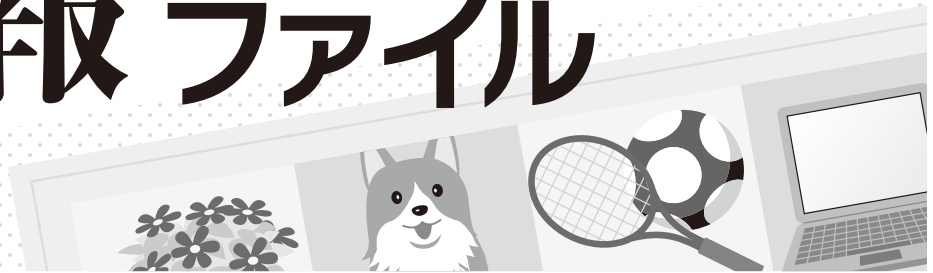


# 情報ファイル

information file



## 医療

### 子ども医療費 受給者拡大後の受診状況

高浜市では、子ども医療の受給対象を平成22年1月1日から拡大し、中学生以下の子ども医療費の無償化と手続きの簡略化を行っています。

医療機関窓口での支払いや、市役所での申請の手間がなくなり、医療費も無料となったことで、より利用しやすい制度となりました。

制度拡大の前後を比較すると医療費が伸びていることが分かります。(下図参照)  
医療の適正受診に、ご理解とご協力をお願いします。

子ども医療費は、先輩パパママのリクエストにこたえて実現されたもので、地域の「やりたい」という思いをかなえるため用意された「市民予算枠」を財源としています。市民予算枠は、個人市民税の5%をあてるもので、子ども医療の無償化のほか、地域の皆さんのニーズにそったまちづくりのために使われています。

お子さんの健やかな育ちのためには、安心して医療を受診できる環境のほか、豊かで暮らし

やすい安心・安全なまちづくりも大切です。

限られた財源をお子さんの将来に向けて有効に使っていただくために、医療の適正な受診に協力をお願いします。

#### 【医療機関適正受診のために】 ●時間外、休日受診はなるべく避けましょう

休日や夜間に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者を受け入れるためのものです。また、医療費も高く設定されていますので、平日の時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。

#### ●医師のかけ持ちは控えましょう

同じ治療や検査の繰り返しは、医療費が余分にかかるだけでなく、かえって身体に悪影響を与えてしまうなどの心配があります。今受けている治療に不安などがあるときは、医師に伝えて話し合ってみましょう。

#### ●かかりつけの医師を持ちましょう

何でも相談できる「かかりつけ医」を持って、気になることがあったら、まずは相談しましょう。

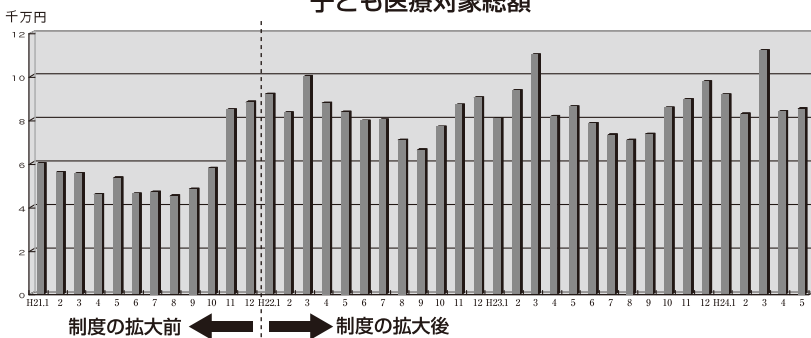
#### ●薬のもらいすぎに注意しましょう

薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。また、薬は飲み合わせによって、副作用を生じることがあります。

#### ●後発医薬品(ジェネリック医薬品)をご存じですか

後発医薬品とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品とほぼ同じ成分のものです。このため、先発医薬品より安価であり、患者さんの薬代金の負担軽減にもなりますが、一部先発医薬品に比べて効果・効能に違いがあるものもあります。後発医薬品を希望する際は、かならずかかりつけ医または薬剤師に相談して

子ども医療対象総額



ください。

子ども医療費助成は、出生から中学校卒業年(15歳)の年度末までを対象に、県内の医療機関での通院および入院の保険診療自己負担分を保険証に子ども医療費受給者証を添えて提示することにより、無料にするものです。

#### 問合せ先

※ ※ ※  
困市民窓口グループ  
☎5211111(内線227・217)

#### 小児救急電話相談

愛知県では、かかりつけの医師が診療していない夜間に、症状に応じた適切な医療相談が受けられるよう、次の時間帯に、小児科医による保護者向けの電話相談事業を実施しています。  
相談受付日 毎日  
受付時間 午後7時～11時(4時間)

電話番号 #8000

※短縮番号です。県内どこからでもこの番号でかけられます。

※短縮番号が使えない場合は、直通番号052-962-9900まで。

愛知県救急医療ガイドホームページ

http://www.aq.pref.aichi.jp/